

第72回東京都中学校対抗柔道大会 要項

兼 第62回東京都中学校総合体育大会柔道競技
(第54回全国中学校柔道大会・東京都予選会)
(第48回関東中学校柔道大会・東京都予選会)

- 1 日 時 令和5年7月28日(金)
① 役員集合/午前8時30分 ② 開 場/午前9時00分
③ 計量受付/午前9時15分～午前9時45分
④ 開会式/午前10時15分 ⑤ 閉会式/午後3時30分
- 2 会 場 東京武道館
〒120-0005 足立区綾瀬3-20-1 TEL 03-5697-2111(代)
- 3 参加資格 (1) 東京都中学校体育連盟柔道競技部に加盟している学校に令和3年4月以降在籍し柔道部に入部登録している男子生徒であること。また、全日本柔道連盟に加盟しており、令和4年度に活動実績がある地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)に所属する男子であること。
(2) ブロック大会に出場し、ブロック代表として推薦を受けたチームであること。各ブロックからの推薦数は、大会実施規程第2章第7条(1)による。島嶼の学校の選手は、ブロック推薦にかかわらず出場できる。
(3) 出場する選手は半年以上の修行期間を満たし、かつ試合を行っても差し支えない技量を有する者とする。
- 4 引 率 中学校から参加する生徒は必ず出場者の所属する中学校の教員が引率する。ただし、東京都中学校体育大会監督・引率細則の定めるところにより教員以外の引率を認める。地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)から出場する場合は、全日本柔道連盟公認柔道指導者資格C以上を所有している者が引率をする。
- 5 編 成 各団体とも1チームずつ参加することができ、チームの編成は次の要領で編成する。
 - ① 1チームの人員は監督1名、選手5名・補欠2名の計8名で編成し、体重の最も重い者を大将とし、以下順次体重順に編成する。
 - ② 1チームの出場選手数は5名とするが、これに満たない場合は少なくとも3名以上で編成する。5名に満たない場合は大将より順次体重順に編成するものとし、4名の場合は先鋒を、3名の場合は先鋒・次鋒を空位とする。
 - ③ 選手を交代するときは、あらかじめ登録された補欠の選手でなければならない。交代した場合も最も体重の重い者を大将とし、以下順次体重順に編成する。
- 6 試合形式 (1) 試合形式はトーナメント戦形式とし、勝敗の決定方法は大会実施規程第6章第30条(1)による。
(2) 試合は『国際柔道連盟試合審判規程(少年大会特別規程)』により行う。
(3) 全国大会・関東大会の出場者の決定は大会実施規程第2章第9条(1)による。
- 7 参加費 1チーム7,000円(ブロック大会の参加費とは別に必要となる。)
- 8 大会申込 (1) 締切期日
令和5年6月20日(火) 正午まで
(2) 申込先
常任専門委員会の競技委員宛に、締切期日までに申し込む。
(3) 申込時に必要なもの
所定の申込用紙に参加費を添えて申し込む。

- 9 会議等 (1) 組み合わせ会議 日時/令和5年6月30日(金) 午後5時00分開会
 令和5年7月 1日(土) 午後2時30分開会
 会場/北区立赤羽岩淵中学校
 (2) 常任専門委員会 日時/令和5年7月11日(火) 午後5時00分開会
 会場/講道館新館2階教室

10 服装 (1) 柔道衣

選手は『国際柔道連盟試合審判規程』に示されている正しい規格の柔道衣を着用する。

(2) ゼッケン

選手は柔道衣の背面に全日本柔道連盟が定めるゼッケンをつける。

(3) 計量時の服装

計量の服装は、Tシャツと柔道衣の下穿きの着用とする。包帯・サポーター等の着用は一切認めない。なお、柔道衣等の重さは含まないので、必要に応じて脱衣して計量することができる。

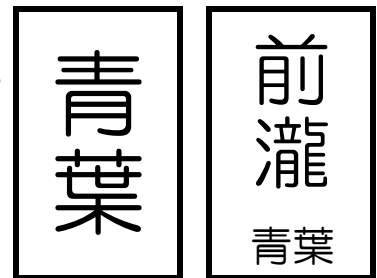
(4) 赤白紐

選手は試合に際して赤白を標識する赤（又は白）の紐を締める。その赤白を標識する紐は出場チームが必要分を用意しなければならない。

11 その他 (1) オーダー用紙の作成

参加チームは下記の要領でオーダー用紙を作成し、申し込みと同時に提出しなければならない。

- ① チーム名と、選手5名・補欠2名の名字をA4版上質紙を縦方向に二分割にしたものに太字で楷書する。合計で8枚作成する。
- ② 選手の下5cmの部分にチーム名を明記する。



(2) 参加生徒の指導について

参加チームの監督は、事前に選手、応援生徒並びに保護者に、大会実施規程第11章第47条・第48条に示されている事項と『東京武道館使用上の注意』に記載されている会場使用上の注意を周知徹底し、大会当日に混乱のないように指導すること。また東京武道館館では、入場の際に下足の靴を入れるビニール袋が必要となるので、この点の指導も徹底すること。

(3) この他の事項は東京都中学校体育連盟柔道競技部大会実施規程による。

(4) 安全確保のため、主催者の判断で選手を棄権させる場合がある。

東京都中学校体育連盟会長

大塚 洋一

東京都中学校体育連盟理事長

金子 哲郎

東京都中学校体育連盟柔道競技部長

前瀧 大吾